

『ひそねとまそたん』の舞台 航空自衛隊岐阜基地に行ってきました！

アニメの舞台となり、ひそね達も所属する飛行開発実験団がある「航空自衛隊岐阜基地」は現在運用中の飛行場としては日本でもっとも古い歴史があります(運用中の飛行場としては世界で2番目に古い)。大正時代からある建物や、終戦後に米軍が使用した建物などもあり基地内は独特の雰囲気。アニメに登場した場所は実際はどのような場所なのでしょう？今回は岐阜基地における基地業務(給食、消防、厚生等)を行う「第2補給処」と「飛行開発実験団」を中心に見学させていただきました。



▼滑走路脇のエプロンからの眺め。正面に見えるのはT-4練習機



▲最寄の駅は名鉄各務原線の「各務原市役所前」駅。小さくて可愛い駅舎です。岐阜基地までは徒歩20分。途中の喫茶店で休憩するのもあります。「珈琲工房ひぐら桜町本店」でモーニング。コーヒーを頼むとトースト2枚がセット！岐阜のモーニング文化を体感するのもオススメです！

あれ？「第8格納庫」???



到着！航空自衛隊岐阜基地



▲岐阜基地のゲート！早速受付へ(見学には申請が必要です。詳しくはP.201まで)



▲まず最初に広報センターへ。旧陸軍将校集会所として使用されていた歴史ある建物

▲駅から徒歩20分ほどあると……なんか見たことある山が……おそろしくと思いつつ左を向くと……

▼中では岐阜基地の戦時中の歴史と航空自衛隊からの歴史を楽しむことができます。F-86セイバーの機首や、F-104のエンジンも展示されています



▲第1話で描かれた休憩所。アニメで描かれたテーブルクロスが格子柄だったので、その後アニメに合わせて休憩所のテーブルクロスもアニメ仕様に変わったそうです！

はなの舞って基地内にあつたんずね！



▲劇中でも隊員の憩いの場となっている「はなの舞」は身舎の裏手に。なんという好立地！



▲はなの舞をすぎて振り返ると見える風景！まさにあの山が「第8格納庫」。三井山(みやま)という山だそうです



▲独身寮。ごみ箱はアニメでは小屋に変わってますね。また岐阜基地の建物はこのような緑や、青い線、アイボリーなどの色使いのものが多いです



▲窓のカーテンなどの雰囲気そのまんまです。店内も広く自衛隊のOB会などにも使用されます

「第8格納庫」のモデルとなった倉庫



やっぱりあの山が「第8格納庫」！



▲大勢で利用できる個室も。アニメの第3話にも登場しました



▶劇中で中にコンビニが描かれている厚生センター。こちらにはコンビニの他にクリーニング屋さんなどもあります



▲中のファミリーマートは岐阜の中のお土産や自衛隊グッズも揃えてあります！アニメ登場の商品も激推し！！



僕の家かな……？



▲米軍の岐阜キャンプ時代当時はランドリーなどとして使用されていたそうです。基地内でも一風変わった雰囲気。本当にまそたんがいそうですね



▲12時になると隊員さんたちが一斉に食堂に向かいます。岐阜基地の食事はとてもおいしいとのこと！この日は「ほくし鶏のスープうどん」でした



▲基地内には体育館があり、隊員のトレーニングに使用されています



→次ページは滑走路もある飛行開発実験団のエアアへ！

飛行開発実験団へ！

第2補給処に続き、飛行開発実験団のエリアへ！
航空自衛隊で使用する航空機、ミサイルなどの
試験及び評価を実施する他に、航空機の領収飛行、
試験飛行操縦士及び技術幹部の教育訓練を任務とする部隊です。
今回はF-15Jの見学とパイロットの方からお話をうかがう事ができました！



▶劇中でも良く描かれる団司令部庁舎



ジョアロード



◀北1号機舎、北2号機舎の前
の道が、あのジョアおばさんとひそねが出
会った場所のモデル!!

▶作中を通して登場する健康飲料
「ジョア」!! 1話のようにストロベ
リー味で!!



ん!? 滑走路にあるあれは…



▲飛行開発実験団へと向かう途
中、滑走路を見ていると…第
3話の航空祭のシーンで隊員達
がひそねとまそねのフライトを
見守っていたモービル・コントロー
ル・ユニット、通称モーボグ!

いたああー!!
F-15J!!!



イーグルドライバーってどんな人?



F-15Jのパイロット、通称イーグルドライバー。
飛行開発実験団の八木沼3佐(写真右)と藤井3
佐(写真左)にお時間を頂戴し、簡単な質問にいく
つか答えていただきました。

- 「ひそねとまそね」ご覧になっていますか?
八木沼3佐(以下Y): 飛行開発実験団では録画し
たものを休憩のときなどにみんなで観たりして
います。
- 藤井3佐(以下F): ドラゴンとは言え、いきなり
F-15Jに乗っちゃうんですからすごいですよ!
Y: そこアニメ! 楽しみましょう。実際の生活の
シーンとかは本当に基地内が描かれていて、観て
いてなんだか不思議な気持ちになります。
- F: みんなでいろいろ突っ込みながら楽しく観ています。
- 飛行開発実験団に来るまではどのくらいフライト
を積み重ねてきたのでしょうか?



▲滑走路脇のエプロンに出ると遂に
F-15Jとご対面! 通常の基地見学
でもエプロンからF-15J/DJやT-4
練習機、F-4EJ/改、F-2A/Bなどを
見ることができます!! 天気もよ
ければ離着陸も見ることができますよ!

- Y: 私と藤井は防衛大学の先輩・後輩でして、こ
の飛行開発実験団に来るまでにはお互い約1000
時間以上フライトしています。1000時間以上フ
ライトを経験しないとここに来ることは難し
いともいえます。
- よく「Gがかかる」という表現があると思うの
ですが、具体的にどういった感覚なのでしょうか?
F: 訓練では「9G」まで体感します。単純に体重の
9倍の負荷がかかります。その中で周囲の状況な
ども確認しなければなりません。
- Y: もし「9G」で頭がガクンと下がってしまったら、
持ち上げるとはほぼ不可能とも言えます。その
くらいとても重い負荷です。ですから日頃から
しっかりとトレーニングをしないと戦闘機の機動
には耐えられません。
- 操縦が一番気をつけていることはなんですか?
F: もちろん事故を起こさないということです。そ
して機体を常に整備している人たちに感謝の気持
ちを忘れないことです。
- パイロットの中にプラモデルって好きな方多
いんですか?
Y: 私は小さい時にいくつか作ってました。飛行
機って何で飛ぶんだろ? って思い、作ったもの
を投げてみて壊しちゃったりしたこともありま
した……。今は作ってないプラモデルの箱がいくつ
か部屋に積んであります。
- F: 私は今も作ってまして、缶スプレーなどで塗
装したりして楽しんでます。小さい頃からの乗り
物などに対する憧れや、漫画「エアリアル」や映画

あなたも岐阜基地に見学に行きませんか?

詳細は岐阜基地ホームページ (<http://www.mod.go.jp/asdf/gifu/>) まで!!